

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号 600-8652

地方創生の実現に向けた 平成28年度上期「地域密着型金融の取組み」について

京都銀行（頭取 土井 伸宏）では、今般、平成28年度上期の「地域密着型金融の取組み状況」を取りまとめましたのでお知らせいたします。

当行は、地域密着型金融の基本方針に「積極的なコンサルティング機能の発揮により、中小企業者の経営安定・成長発展を支援し、地域経済の活性化に貢献する」ことを定め、地域密着型金融の推進に努めてまいりました。

第5次中期経営計画「ビジョン75 いい銀行づくり」（平成26年度～28年度）においては、コンサルティング機能の強化や地域経済の活性化支援等に取り組むことにより「地域密着型金融の深化」を図ることを掲げ、お取引先の経営課題解決のサポートや地域経済の活性化につながる取組みを実施しております。

今後も、中小企業等への金融の円滑化を通じ、地域経済の活性化に貢献することが地域密着型金融の本来のあり方と認識し、引き続き地域の発展と成長に貢献できるよう努めてまいります。

記

「地域密着型金融の取組み状況(平成28年4月～平成28年9月)」の内容

1. 地域密着型金融の取組み方針
2. 平成28年度上期の主な取組み
 - (1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
 - (2) 地域の面的再生への積極的な参画
 - (3) 取組み態勢の整備
3. 金融仲介機能のベンチマーク（共通ベンチマーク）
4. 地域密着型金融の取組みに関する計数

※本日から当行ホームページに掲出いたします。

以上

地域密着型金融の取組み状況
(平成28年4月～平成28年9月)

 京都銀行

平成29年1月

1. 地域密着型金融の取組み方針	- 2
2. 平成28年度上期の主な取組み	
(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	- 4
(2) 地域の面的再生への積極的な参画	- 11
(3) 取組み態勢の整備	- 14
3. 金融仲介機能のベンチマーク(共通ベンチマーク)	15
4. 地域密着型金融の取組みに関する計数	- 16

(1) 地域密着型金融の基本方針および中期経営計画における位置付け

当行は、地域密着型金融の基本方針を「積極的なコンサルティング機能の発揮により、中小企業者の経営安定・成長発展を支援し、地域経済の活性化に貢献する」と定め、積極的に地域密着型金融の推進を図ってまいりました。

平成26年度にスタートさせた第5次中期経営計画「ビジョン75 いい銀行づくり」(平成26年度～28年度)においても、企業の成長を促すコンサルティング機能の強化や地域経済の活性化支援等に取り組むことにより「地域密着型金融の深化」を図っております。

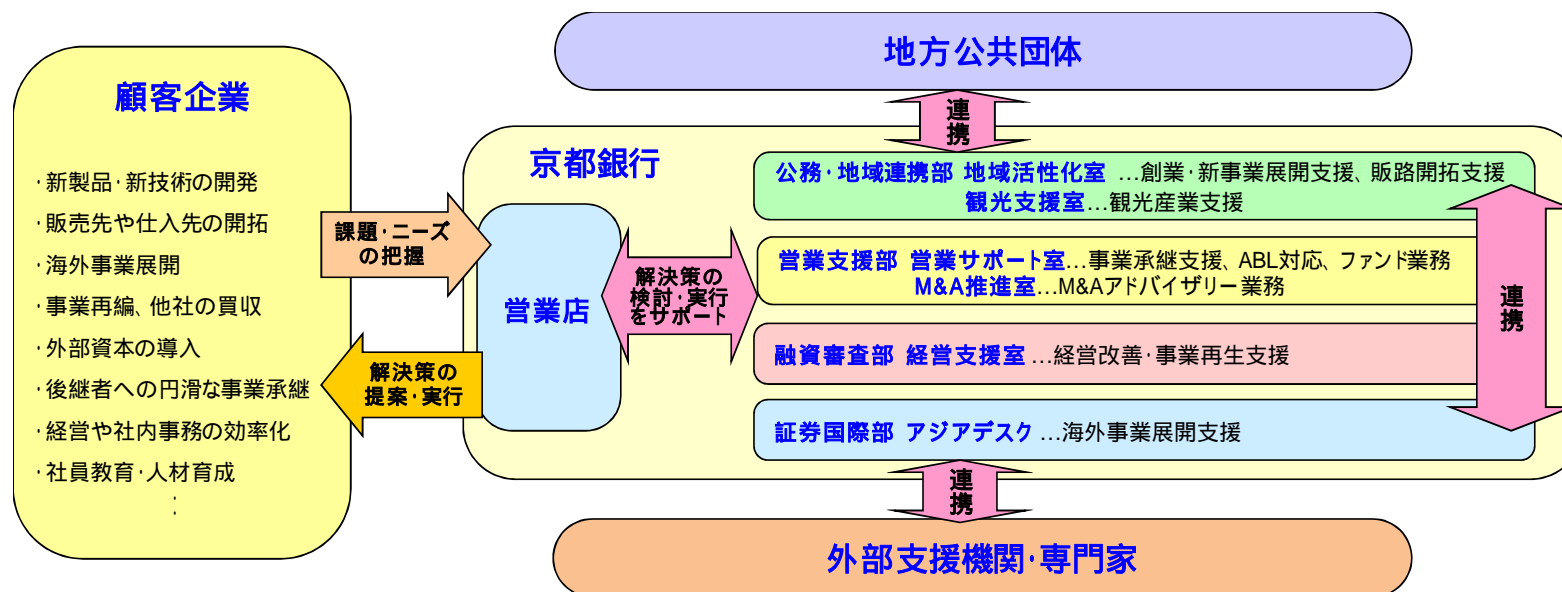
(2) 取組み態勢

当行では、お取引先の様々な経営課題やニーズに対して、営業店と本部各部が連携して積極的なコンサルティング機能を発揮できる態勢を整えております。

また、平成28年6月に、地域活性化・地方創生に関する専担部署として、「公務・地域連携部」を設置し、地方公共団体ならびに地域における様々な関係団体等とも連携を図りながら、地域の面的再生や経済活性化への取組みを支援しております。

加えて、経営基盤・営業エリアが異なる地方銀行(当行を含む9行)が連携・協力する「地域再生・活性化ネットワーク」を活用することで、従来単一の銀行ではできなかった、より付加価値の高いサービスをご提供いたします。

[取組み態勢のイメージ]



(3) 取組み内容

「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」、「地域の面的再生への積極的な参画」、人材育成や積極的な情報発信等の「取組み態勢の整備」を地域密着型金融の取組みの3つの柱として、地域の中小企業等への経営課題のサポートや地域経済の活性化につながる取組みを実施しております。

【顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮】

～顧客企業のライフステージや課題・ニーズに応じた最適なソリューションを提供～

行政や公的支援機関、大学、専門機関等と連携した「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」による課題解決支援

経営改善計画の策定支援
コンサルティング会社や外部機関と連携した経営改善支援、個別経営相談会の実施
各種再生スキームを活用した事業再生支援

創業・
新事業支援

成長支援

経営改善
事業再生支援

事業承継支援

販路拡大のためのビジネスマッチングや商談会の開催による商談機会の提供
海外展開における情報提供やビジネスマッチング
高度な金融スキームを活用した資金調達支援
事業拡大を目的としたM&A(事業買収)のサポート

税理士等専門家と連携した事業承継スキームの立案・実行支援
事業承継の出口の一つとして、M&Aのサポート

【地域の面的再生への積極的な参画】

～地域経済の活性化につながる取組みを展開～

観光産業活性化に資する当行独自の取組みの展開
地域の観光情報のPR、観光関連業者の支援

地域の成長産業に対する支援強化
医療福祉分野、環境分野、農業分野等への支援

地域の再生支援ネットワークの拡充
再生支援ネットワークを活用した他行協調体制の構築

地域全体の活性化につながる行政施策等との連携強化
行政や公的支援機関、業界団体等が実施する取組みに積極的に協力

態勢整備を図ることにより
地域密着型金融の取組みを強化

【取組み態勢の整備】

専門的な金融手法や知識等のノウハウを持つ人材の育成、ノウハウ・情報の共有
金融大学校による各種講座・演習の実施

全行的な取組みの強化、業績評価への反映
コンサルティング機能の発揮状況を業績評価項目に設定

積極的な情報発信、地域の利用者から評価される態勢の整備
取組状況の公表、各種セミナー・シンポジウム等での事例発表等

(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

ア. 創業・新事業支援

京銀活き活きベンチャー支援ネットワークの活用

創業企業やベンチャー企業、新たな事業分野への進出を検討されている中小企業の課題・ニーズに対し、「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」に参画いただいている支援機関や大学等と連携してビジネスマッチングや各種情報の提供、専門家（機関）や大学の紹介等のご支援を行いました。

【京銀活き活きベンチャー支援ネットワークの概要】



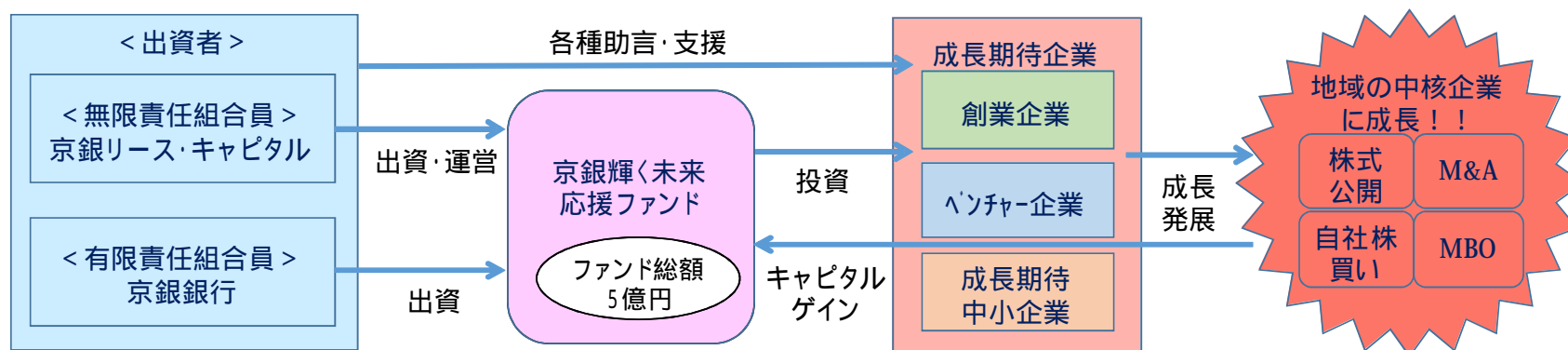
2. 平成28年度上期の主な取組み

京銀輝く未来応援ファンドによる投資

地元の成長期待企業の支援育成を目的として、平成28年2月に、当行グループ企業である京銀リース・キャピタルとの共同出資により、「京銀輝く未来応援ファンド」を設立しております。

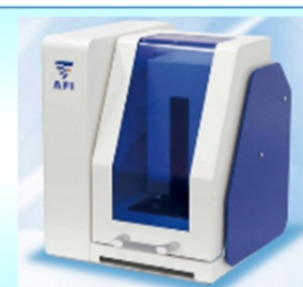
平成28年度上期は、京都のベンチャー企業1社に投資を行っております。

【京銀輝く未来応援ファンドの概要】



【平成28年度上期の投資先】

企業名	株式会社AFIテクノロジー
所在地	京都市上京区
設立	平成25年5月21日
企業概要	京都大学医学研究科乳腺外科との共同研究成果を活用し、細胞・微生物を特徴に応じて迅速に分離・精製・検出する機器の開発・販売を行う。

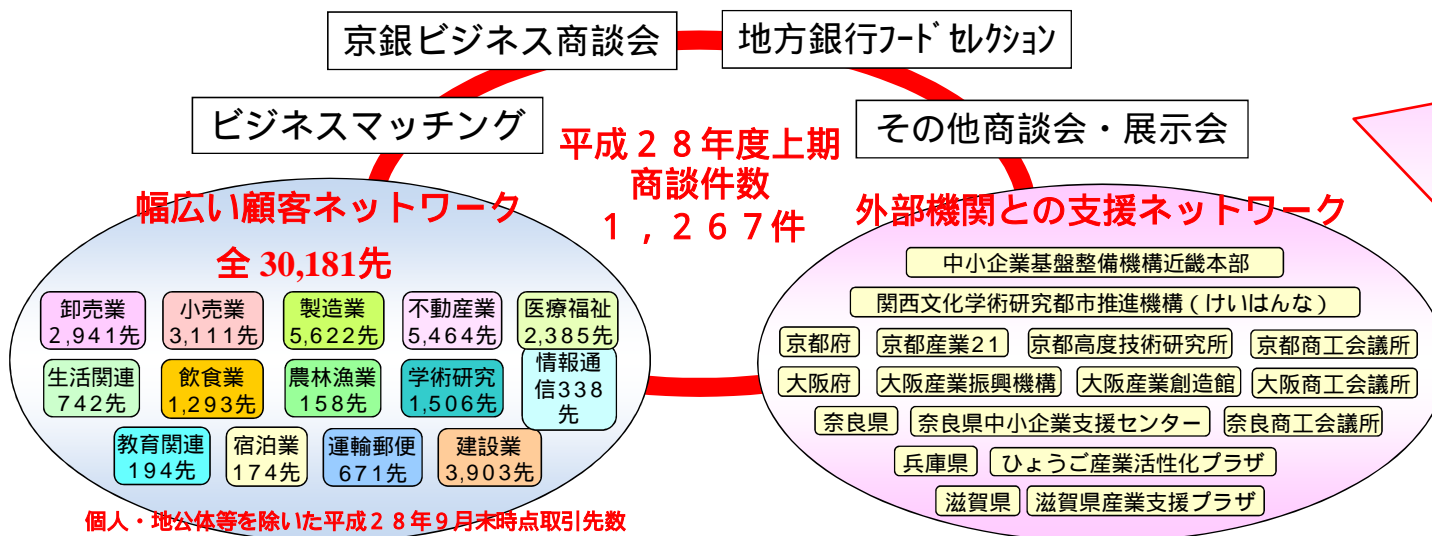


2. 平成28年度上期の主な取組み

イ. 成長支援(販路開拓支援等)

幅広いネットワークを活用した商談機会の提供、商談力向上の支援

当行では、幅広い顧客ネットワークや外部機関との支援ネットワークを活用して、お取引先の販路開拓支援に積極的に取り組んでおります。平成28年度上期は、個別のビジネスマッチング、各種商談会の開催により、1,267件の商談機会を設定させていただきました。また、「商談力向上セミナー」も開催し、商談スキル向上のご支援にも取り組みました。



「商談力向上セミナー」を開催

平成28年7月と9月に、バイヤーとの豊富なネットワークをもつ専門家を講師に招き、商談会で成約に繋がるポイントについての講演や模擬商談会を行いました。

「第18回京銀ビジネス商談会」を開催

平成28年8月に、通販会社をバイヤーとした商談会を開催(会場:当行本店)。バイヤーによる事前選考を通過したお取引先6社に個別商談を行っていただきました。

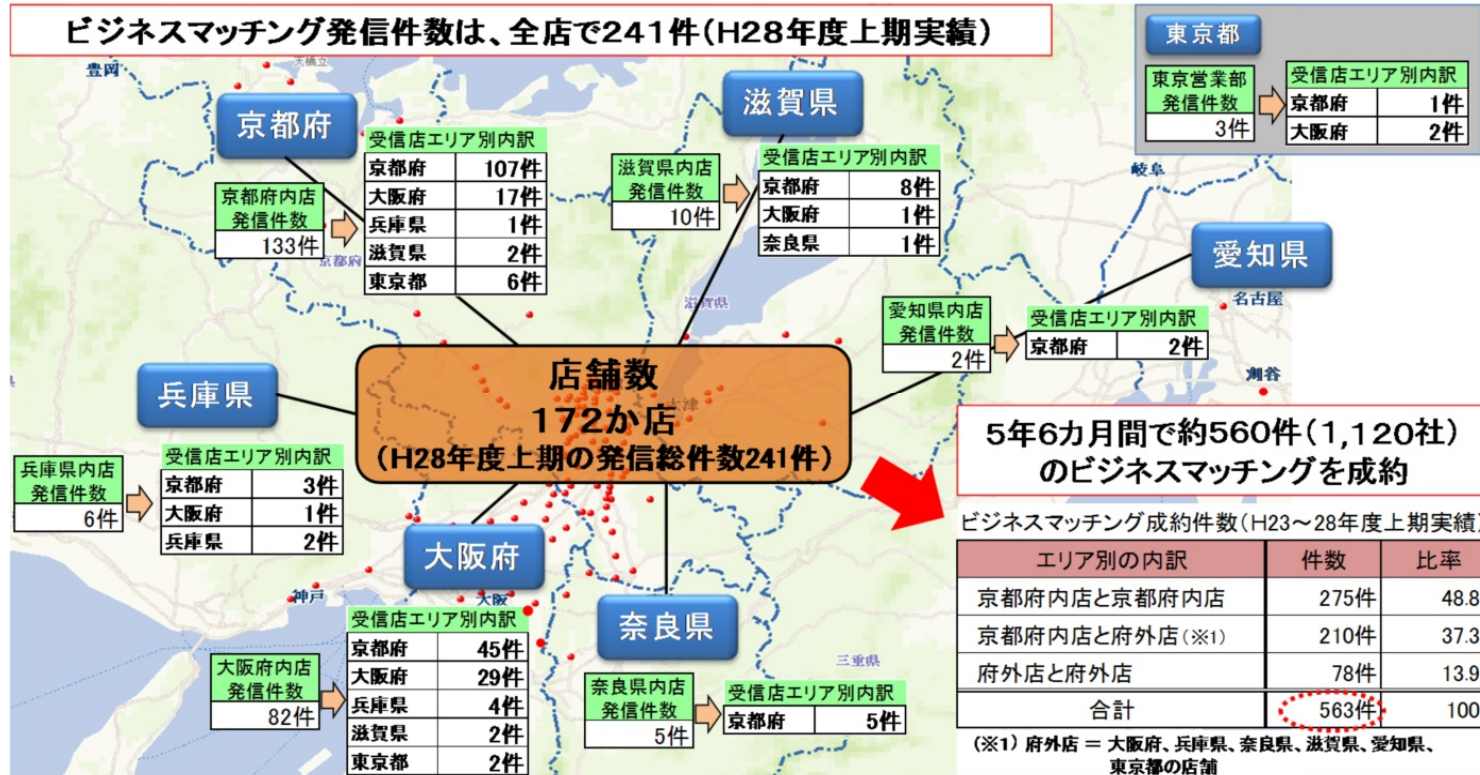
「南の逸品商談会inTokyo2016」に参加

平成28年9月に南九州の金融機関6行庫が合同で開催(会場:池袋サンシャインシティ)。当行も特別協力として参加し、お取引先6社に出展いただきました。2日間合計で約4,100名のバイヤーが来場され、数多くの商談を行っていただくことができました。

2. 平成28年度上期の主な取組み

広域店舗ネットワークを活かしたビジネスマッチングの取組み

「広域型地方銀行」として、当行が懸け橋となり、地域間のビジネスマッチングにも積極的に取組んでおります。



取組み事例～京都府内の抹茶製造業者を兵庫県の洋菓子製造業者等に紹介～

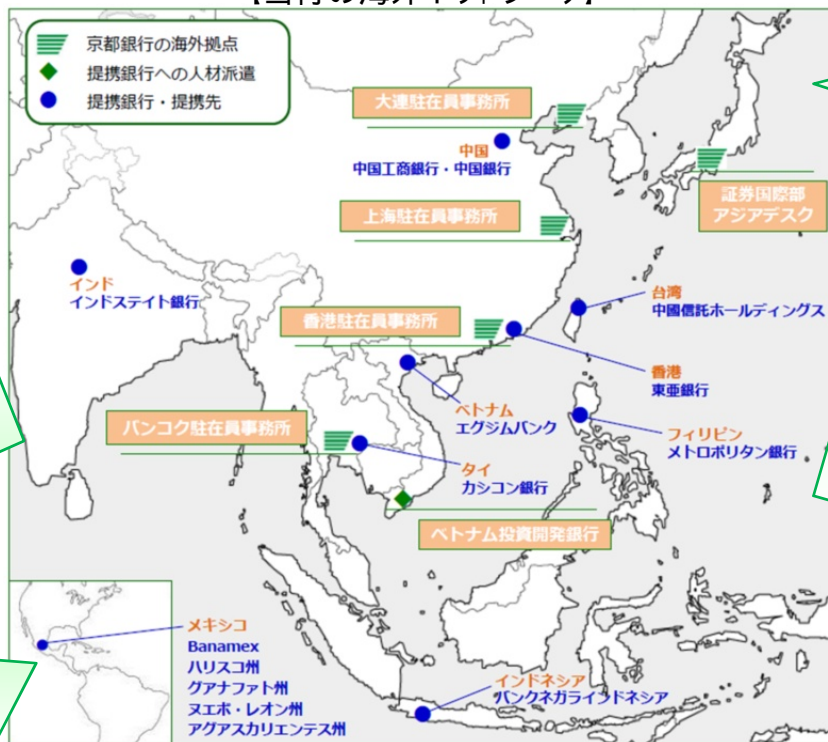
- 【お取引先】 京都府内で茶の製造卸売業を営んでいるA社。
- 【取組経緯】 A社では、近年の加工用抹茶の需要増加に対応すべく、殺菌処理を施せる加工用抹茶専用の新工場を新設。新工場の稼働率向上の為、新たな販売先を求めていたA社のニーズをキャッチした取引店担当者は下記取組みを実施。
- 【取組内容】 兵庫県のA支店やB支店と連携して、抹茶仕入ニーズが見込める取引先と各々商談の場を設定。
- 【結果】 A支店の洋菓子製造販売業C社との商談の結果、当社の抹茶を使用したスポンジケーキに黒豆を使用したコラボ商品の販売が決定。また、B支店の食料品製造業D社との商談の結果、材料の一部として当社の抹茶の使用が決定。今後、徐々に取引量を増やし、コンビニ向け商品の企画等も検討されていく予定となっております。

2. 平成28年度上期の主な取組み

ウ. 成長支援(海外事業展開支援等)

当行では、幅広い海外ネットワークを活用して、海外進出支援や現地でのビジネスマッチング、貿易取引や海外現地法人の資金調達支援に積極的に取り組んでおります。

【当行の海外ネットワーク】



ベトナム ビジネスセミナー & 交流会 を開催

平成28年9月、ベトナム投資開発銀行の提携金融機関10行庫の連携で開催。当日は、153社(当行取引先24社)にご参加いただき、情報収集と企業間での交流を図っていただきました。



～メキシコ合衆国の州政府・大手金融機関と提携～

平成28年9月に、メキシコ合衆国のグアナファト州、ヌエボ・レオン州およびメキシコ大手金融機関「Banamex」と業務提携を行いました。これにより、広範なメキシコの経済・投資環境情報の提供や現地金融サービスの提供等が可能となりました。

平成28年度上期
1,420件の海外事業サポートを実施

サポート事例 インバウンド需要のマーケティング調査をサポート!

京都市内で舞妓や着物の写真撮影やレンタルを行うA社より中国でのマーケティング調査の相談があり、現地でのアテンドを実施。

インバウンド需要を取り込むための秘策から、現地でしか得られない最新情報等を収集され、今後の戦略に役立てていただきました。

<アテンドスケジュール>

- 1日目 福利厚生サービス会社、旅行会社
- 2日目 IT会社、メディア、マーケティング会社、旅行会社
- 3日目 旅行会社、旅行博覧会視察



平成28年度上期 海外現地法人向け融資実績

クロスボーダーローン 計8件実行			スタンドバイL/C 計4件実行		
中国向け	米ドル建て	1件	中国向け	人民元建て	1件
タイ向け	バーツ建て	2件	中国向け	米ドル建て	2件
香港向け	米ドル建て	2件	台湾向け	米ドル建て	1件
メキシコ向け	円建て	1件			
アメリカ向け	米ドル建て	1件			
マレーシア向け	米ドル建て	1件			

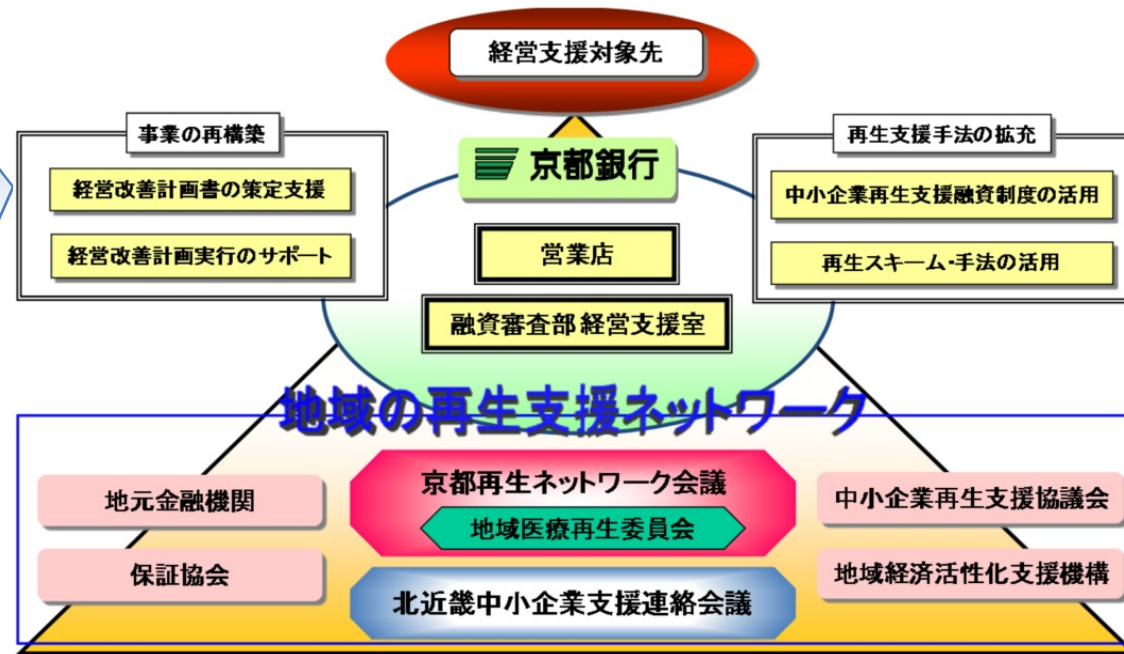
2. 平成28年度上期の主な取組み

エ. 経営改善・事業再生支援

経営改善・事業再生支援を優先的に行うべきお取引先を支援対象先(「経営支援対象先」、「準経営支援対象先」、「全店1人1社経営支援運動先」)に選定し、これら支援対象先および全ての条件変更先に対して経営改善・事業再生支援の取組みを進めております。また、従来より中小企業再生支援協議会や信用保証協会、地元金融機関等で構成する「京都再生ネットワーク会議」を中心に「オール京都」の枠組みによる再生支援に取り組んでおります。

個別経営相談会	
開催時期	平成28年4月～7月 (計9回開催)
内容	コンサルティング会社を活用し、経営力強化を目的とした個社別の相談会。
参加者数	合計13社

経営計画策定セミナー		
	「基本編」	「実践編」
開催時期	平成28年5月・7月 (計2回開催)	平成28年6月・8月 (計2回開催)
内容	経営改善計画の意義の理解や策定に向けた経営者の意識改革を目的としたセミナー。	具体的な経営改善計画の策定を目的としたセミナー。
参加者数	合計6社	合計5社



取組み事例～再生型シンジケートローンを活用した経営改善支援～

【お取引先】 製造業B社

【取組経緯】 過去から取引金融機関協調で経営改善支援を継続していたお取引先。しかしながら、業績は計画対比下振れの状態が続いていたことから、今般、改めて全取引金融機関協調のもと、経営改善計画を策定し、金融スキームを再構築することとなりました。

【取組内容】 メインバンクである当行主導のもと、下記取組みを実施いたしました。

経営課題の抽出：工場見学やヒアリングを実施し、「売上構成の変化」や「工場の老朽化」、「従業員の年齢構成の歪化」等の経営課題を把握。

経営改善計画の策定支援：売上構成の変化、労働力の確保、研究開発、設備投資、借入金返済を加味した現実的な経営改善計画の策定を支援。

金融スキームの構築・実行：実現可能なキャッシュフローで返済できる再生型シンジケートローンを当行主導で組成し、全取引金融機関合意のもとで実行にいたしました。

オ. 事業承継支援・M&A

後継者問題を抱えるお取引先に対するサポートとして、自社株評価や事業承継に関する初期的なアドバイス、税理士等の専門家と連携した最適な事業承継スキーム、課題解決策の検討を行っております。また、後継者不足、業界の再編等により事業存続の悩みをお持ちのお取引先に対して、M & Aによる出口戦略のサポートも行っております。

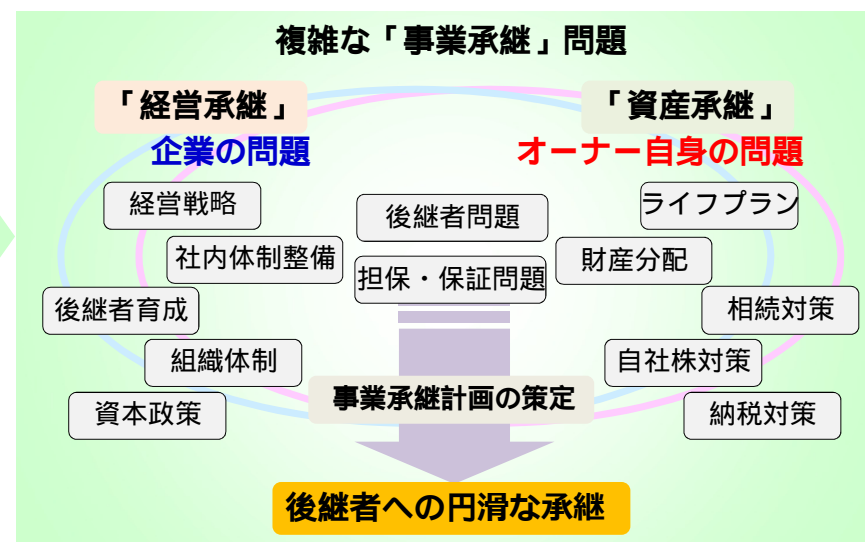
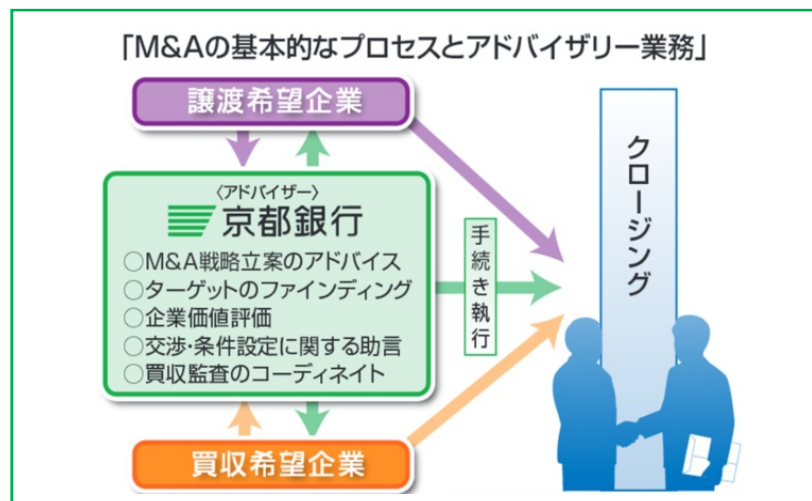
当行の事業承継サポート

平成28年度上期 事業承継相談受付件数 **113件**

自社株の概算評価	資本政策に関するアドバイス
株価対策	必要資金のファイナンス
相続対策コンサルティング	M & Aのご支援 等々

当行のM & Aサポート

平成28年度上期 M & A成約件数 **6件**



サポート事例
～取引先一社依存体質のビジネスモデルからの脱却を目指すM & Aを支援！！～

京都府下で包装資材の製造販売を営むA社より販路開拓、事業多角化のニーズをキャッチし、具体的なM & A案件のご提案を実施。

リーマン・ショック時には売上が半減するなど、取引先一社依存の影響に危機感を有しておられたA社に対して、最適な情報のご提供と適切なサポートを行い、無事案件成約。

その他、経営効率向上や従業員の雇用確保等の経営課題の解決にも繋がったと評価いただきました。

(2) 地域の面的再生への積極的な参画

ア. 観光産業に資する当行独自の取組みの展開

「多言語音声翻訳システム」の店頭設置

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の協力を得て、平成28年7月21日より金融機関で初めて、多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」と聴覚障がい者とのコミュニケーション支援アプリ「SpeechCanvas」を搭載したiPadを京都市内17か店に設置。
おもてなし力の向上と外国人観光客誘致による地域活性化を支援するとともに、聴覚に障がいのあるお客様との多様なコミュニケーション手段を備え、お客様満足度の向上に取り組んでおります。



京都観光写真展、「京の七夕」ロビー展の開催

平成28年度上期も103か店のロビーにて「京都観光写真展」を開催し、「京丹後『絶景の旅』」、「森の京都」を巡るなど6つのテーマで写真展示を行ったほか、平成28年8月に、「オール京都」で開催された「京の七夕」への協賛事業として、京都モデルフォレスト協会の協力のもと、当行行員が放置竹林で伐採した笹を使用したロビー展「京の七夕」を京都市内43か店において開催いたしました。



観光関連融資の取組み



観光活性化を資金面から支援するため、観光産業に携わる事業者様向け専用ローン「京銀観光支援特別融資<賑わい>」の取扱いに加え、「京都市地域活性化総合特区に係る利子補給金制度」の取扱いを行っております。

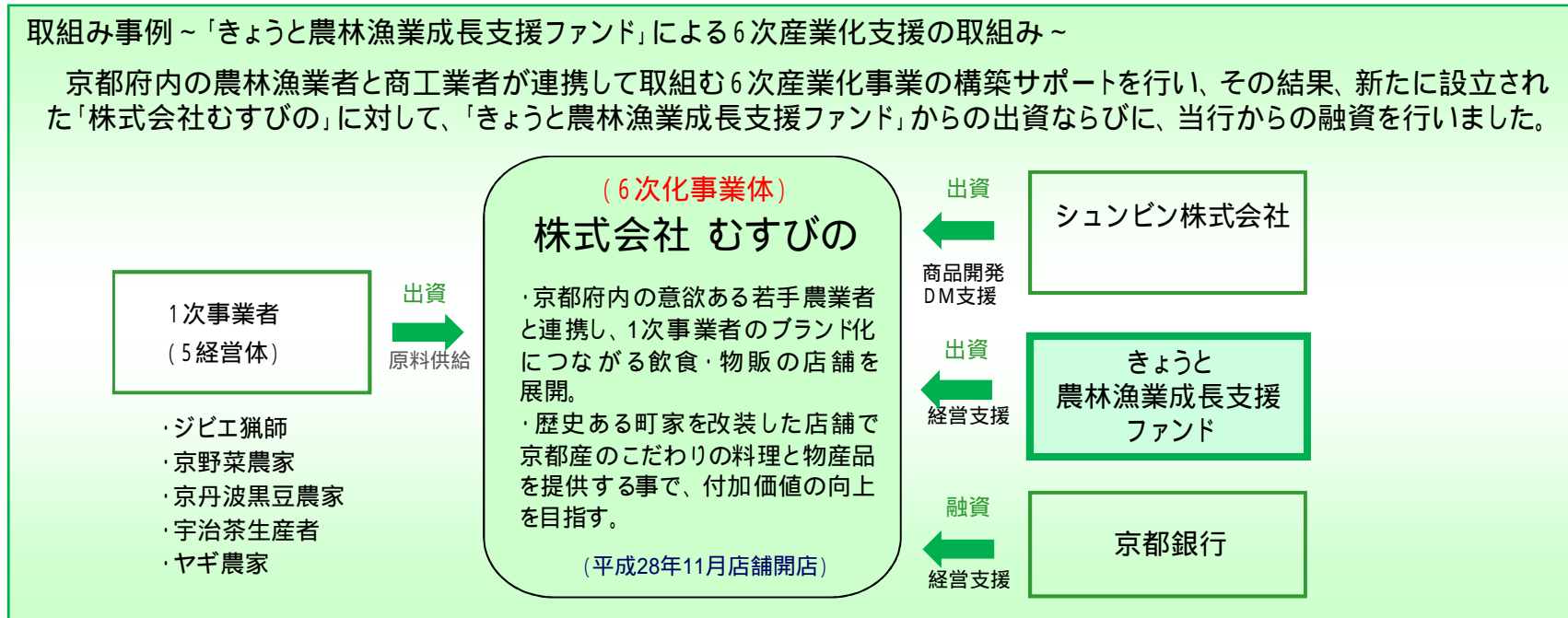
「京都市地域活性化総合特区に係る総合特区支援利子補給金制度」の概要

【対象】 京都市内における旅館・ホテル、料亭、観光土産品小売店、寺社仏閣等の新設、改修・増改築、設備の整備等
【利子補給率】 最大0.7% 【支給期間】 5年間

平成28年度上期 活用事例

- ・京町家を活用したホテルの新設資金
- ・インバウンド需要に対応した和風旅館の新設資金
- ・レンタル着物店の改装資金

イ. 地域の成長産業に対する支援強化



ウ. 地域の経営支援ネットワークの拡充

北近畿エリアの金融機関が経営支援に対する考え方や認識を共有し、地域における中小企業支援に向けた取組みのスピードアップを図ることを目的に、「北近畿中小企業支援連絡会議」を平成27年3月に創設し、毎月開催される「実務者会議」を通じて地域の事業者様に対する取組みを進めております。平成28年5月および6月には連絡会議の主催で、宮津・豊岡の2会場で地元事業者を対象として「～地方創生の実現に向けて～観光活性化セミナー」を開催いたしました(計194名参加)。

メンバー	京都銀行、京都北都信用金庫、但馬銀行、但馬信用金庫、中兵庫信用金庫、日本政策金融公庫、福邦銀行
オブザーバー	京都府、兵庫県、近畿財務局、近畿経済産業局、京都信用保証協会、兵庫県信用保証協会、中小企業再生支援全国本部、京都府中小企業再生支援協議会、兵庫県中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構

＜観光活性化セミナー(宮津開催)のプログラム＞	
第一部	観光を取り巻く現状とWILLERの次なる戦略について 講師:WILLERツーリズム&コンサルティング(株)
第二部	観光活性化マザーファンドの取組み事例にみる観光活性化の切り口について 講師:(株)リサ・パートナーズ

エ. 地域全体の活性化につながる行政施策等との連携

地域創生「お茶の京都」インバウンド対策セミナーを開催

平成28年6月、お茶生産の美しい景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信などにより京都府南部地域の活性化を目指す「お茶の京都」をテーマにしたセミナーを京都府と共催いたしました。

当日は、観光関連事業者等23名がご参加され、今後の活動の参考としていただきました。

< セミナープログラム >

第一部 「お茶の京都」の取組について
講師：京都府山城広域振興局

第二部 飲食店におけるインバウンド対策の今
講師：(株)ぐるなび

第三部 「お茶の京都」エリアでのキャッシュレスインフラ整備について
講師：三菱UFJニコス(株)



地方創生の取組み

・地方公共団体、学校法人との連携協定の締結

協定締結月	締結先	協定名
平成28年6月	城陽市	地方創生に関する包括連携協定
平成28年7月	京都府公立大学法人 京都府立医科大学 京都府立大学	地域にもっとも近い「学」×「金」の 地域創生に向けた協定
平成28年9月	滋賀大学	地方創生に関する包括的連携協定
平成28年9月	宇治市	地方創生に関する包括連携協定

・地方創生の取組みに役立つセミナーの開催

開催時期	セミナー名	内容
平成28年8月	地方創生セミナ-2016	地方公共団体担当者を対象に、PPP / PFIに関する最新動向や具体的事例、地方創生における地方公共団体と地域金融機関との連携等、今後の取組みに役立つ情報を提供。
平成28年9月	城陽市×京都銀行 包括連携協定締結 記念セミナー	「観光と地域資源の再発見で進める地方創生」をテーマに、特産品の「6次産業化」や観光資源の活用、地域特産品のブランディングや販路拡大について、具体的事例を交えて説明。

(3)取組み態勢の整備

ア.専門的な金融手法や知識等のノウハウを持つ人材の育成、ノウハウ・情報の共有

金融大学校において各種講座、演習の実施を通じ、知識・ノウハウを持つ人材の育成に取り組んでおります。

また、当行独自の取組みとして、業種・業界知識の習得のみならず、法人営業に活用できる旬の話題や情報も対象とした「法人営業スキルアップセミナー」を毎月開催しているほか、M & Aや事業承継等の専門家養成プログラムも実施しております。

イ.全行的な取組みの強化、業績評価への反映

～「地方創生・事業性評価 頭取賞」の創設～

これまで当行では、地域密着型金融の取組みの浸透を図るため、コンサルティング機能の発揮状況を業績評価項目に設定し、お取引先が抱えておられる経営課題やニーズに対して、解決のきっかけとなる情報提供や支援機関等のご紹介、具体的な解決策のご提案を行ってまいりました。

この様な活動を更に強化し、地域経済の活性化や地方創生の実現に繋げていくため、平成28年度上期からは、「地方創生・事業性評価 頭取賞」を創設し、創業支援や再生支援など、お取引先のライフステージに応じた優れたソリューション事例を表彰しております。

【平成28年度上期「地方創生・事業性評価 頭取賞」の実績】

営業店から報告のあった255案件のうち、13案件を表彰

創業支援2件、販路開拓支援1件、新工場進出支援2件、
海外展開支援1件、再生支援3件、事業承継支援1件、
M&A支援2件、その他1件

3. 金融仲介機能のベンチマーク(共通ベンチマーク)

平成28年9月、金融庁は、金融機関の金融仲介機能を客観的に評価するための指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」を公表しました。当行においても、ベンチマークを活用し、地域密着型金融の推進に努めてまいります。

金融仲介機能のベンチマークの各指標については、平成28年3月末基準で算出しております。

取引先企業の経営改善や成長力の強化

当行がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数、融資額の推移

メイン先数	グループベース	15,278社	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	26/3	27/3	28/3
メイン先の融資残高		9,669億円		7,280億円	7,698億円	8,025億円
経営指標等が改善した先数		10,302社				

金融仲介機能の質の向上

ライフステージに応じたソリューション提供

ライフステージ別の与信先数(先数単体ベース)、融資残高



「京銀生き生きベンチャー支援ネットワーク」の活用

「京銀輝く未来応援ファンド」や「きょうと農林漁業成長支援ファンド」による投資

当行が関与した創業の件数
1,355件

広域店舗ネットワークを活かしたビジネスマッチング

幅広い海外ネットワークを活かした海外事業展開サポート

M & A・事業承継
外部専門家や地銀連携等を活用し、後継者問題などの課題解決を支援

地域の再生支援ネットワークを活かした経営改善・事業再生支援

当行が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

条件変更先総数	好調先	順調先	不調先
4,491先	16先	138先	1,106先
うち経営改善計画のない先3,231先			

事業性評価に基づく融資の取組み
右記の先数は単体ベース

事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	1,015先	1,839億円
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	2.9%	6.7%

4. 地域密着型金融の取組みに関する計数

(1) 計数

当行では、各ライフステージに応じたサポート態勢を強化しております。
特に、ビジネスマッチングや海外事業サポートによる成長支援、事業承継支援については、着実に実績を伸ばしております。
また、経営改善・事業再生支援については、経営支援対象先における計画策定も着実に進んでおります。

ライフステージ	項目	平成28年度上期実績		(ご参考) 平成27年度上期実績
		実績	前年同期比	
創業・新事業支援	創業・新事業支援件数	213件	+60件	153件
	創業・新事業支援関連融資実行	45件 / 1,870百万円	+8件 / +814百万円	37件 / 1,056百万円
成長支援	ビジネスマッチング商談件数	1,267件	+116件	1,151件
	海外事業サポート件数	1,420件	+301件	1,119件
	動産・債権譲渡担保融資残高	40件 / 6,243百万円	+5件 / +593百万円	35件 / 5,650百万円
経営改善・事業再生支援	経営支援対象先数	362企業グループ	10企業グループ	372企業グループ
	うち計画策定先数	324企業グループ	2企業グループ	326企業グループ
	計画策定率 (計画策定先数/経営支援対象先数)	89.5%	+1.9%	87.6%
	中小企業再生支援協議会の活用件数	相談持込: 3件 計画策定完了: 7件	相談持込: 2件 計画策定完了: 8件	相談持込: 5件 計画策定完了: 15件
	中小企業再生支援融資制度実行	9件 / 1,315百万円 (累計: 441件 / 496億円)	3件 / +890百万円	12件 / 425百万円 (累計: 418件 / 470億円)
事業承継支援	事業承継相談受付件数	113件(累計576件)	+46件	67件(累計387件)
	M&A成約件数	6件	0	6件

動産・債権譲渡担保融資残高は、平成28年9月末時点のもの。
経営支援対象先は、每期対象先の見直しを行っております。

4. 地域密着型金融の取組みに関する計数

(2) イベント等開催実績

顧客企業のライフステージに応じたセミナーの開催

ライフステージ	開催時期	イベント名	参加者(社)数
創業・新事業支援	平成28年4月	創業を考える in 京都市	38名
	平成28年5月	第4期 スタートアップ・サポートゼミナール	4名
	平成28年7月	-京都大学と連携しませんか-ものづくり企業のための新規事業展開セミナー	73名
成長支援	平成28年7月	経営者として「いつでも備えは万全」にするための消費税セミナー	5名
	平成28年7月	京セラ アメーバ経営セミナー	93名
	平成28年7月	地方創生 商談力向上セミナー2016	11名
	平成28年7月	中国主要都市ビジネスセミナー(青島・大連・上海で開催)	合計41名
	平成28年7月	アジアデスクセミナー「インバウンドビジネス編」	46名
	平成28年9月	地方創生 商談力スキルアップセミナー	20名
経営改善・事業再生支援	平成28年4月・7月(計9回開催)	個別経営相談会	合計13社
	平成28年5月・7月(計2回開催)	経営計画策定セミナー「基本編」	合計6社
	平成28年6月・8月(計2回開催)	経営計画策定セミナー「実践編」	合計5社

商談会の開催を通じて数多くのビジネス機会を提供

開催時期	イベント名	参加社数
平成28年6月	2016大連・地方銀行合同企業交流会	15社
平成28年6月	第8回香港・華南地区日系企業ビジネス交流会	23社
平成28年6月	Mfairバンコク2016ものづくり商談会	13社
平成28年8月	第18回京銀ビジネス商談会	6社
平成28年9月	南の逸品商談会 in Tokyo 2016	6社
平成28年9月	ベトナム ビジネスセミナー & 交流会	24社
平成28年9月	FBC上海2016ものづくり商談会	41社

地方創生・地域活性化の参考となるセミナーの開催

開催時期	イベント名	参加者数
平成28年5月・6月(計2回開催)	~地方創生の実現に向けて~観光活性化セミナー	合計194名
平成28年6月	地域創生「お茶の京都」インバウンド対策セミナー	23名
平成28年8月	地方創生セミナー2016	48名
平成28年9月	城陽市×京都銀行 包括連携協定締結記念セミナー	約100名